



2024年11月6日

各 位

会 社 名 Shinwa Wise Holdings 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 倉田 陽一郎  
(東証スタンダード市場・コード2437)  
問合せ先 取 締 役 岡崎 奈美子  
電話番号 03-5224-8610  
(<http://www.shinwa-wise.com>)

## (訂正)「特別損失の計上に関するお知らせ」の一部訂正について

2024年11月5日付にて公表いたしました「特別損失の計上に関するお知らせ」につきまして一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には、下線を付して表示しております。

### 記

(訂正前)

#### 1. 特別損失の内容

Shinwa Wise Holdings 株式会社は、2024年5月期において、以下のとおり、合計710,152,000円を特別損失に計上致しました。

##### (1) 本社移転にかかる特別損失：164,740,059円

旧事務所のオーナーから、全テナント一斉転居を求められたため、2024年2月に本社移転しました。それに係る費用をこの度特別損失に計上いたしました。

1、旧事務所修繕費	124,181,070円
2、 <u>旧事務所外壁等資産除去費</u>	23,430,786円
3、本社引越し費用	17,204,500円

##### (2) 過年度決算修正費用にかかる特別損失 117,691,218円

2024年7月4日に開示された通り、誠に遺憾ながら、当社は子会社 Shinwa Prive 株式会社等の取引における不適切会計に関して、第三者委員会を立ち上げました。それにかかる費用をこの度特別損失に計上いたしました。

##### (3) アイアート株式会社 のれん償却費 343,624,754円

2024年5月期の決算を鑑み、かなり保守的にのれん代を計算したところ、約3億4000万円程度の減損処理をいたしました。なお、本件はキャッシュが当社から出ていくものではなく、利益が上がった場合特別利益としてもどってくる可能性がございます。

##### (4) Shinwa Prive 株式会社貸付金にかかる特別損失 268,140,000円

Shinwa Prive 株式会社が債務超過となっているため、この度減損処理いたしました。

##### (5) Shinwa Digital Arts 株式会社に係る特別損失 65,333,546円

当社が2024年8月30日にリリースいたしました「連結子会社の商号の変更に関するお知らせ」で発表しましたとおり、当社はこれまでクライアントと締結しておりました Edoverse の開発事業のコンサルティングから、クライアントが進める新たな展開への移行を支援する役割に注力することになったこと、および、広くデジタルアート、

NFT アートのマネージメントを行うこととしたため、これまでの事業にかかるものを一旦精算することとしたため、合計 44,743,047 円減損処理をいたしました。また、同様の理由により、クライアントの開発会社（Sequin, inc）に対する出資金 20,594,499 円に関しましても減損処理をいたしました。

(訂正後)

1. 特別損失の内容

当社は、2024年5月期において、以下のとおり、特別損失を計上致しました。

(1) 本社移転にかかる特別損失(連結及び個別) 164,816,356 円

旧事務所のオーナーから、全テナント一斉転居を求められたため、2024年2月に本社移転しました。それに係る費用をこの度特別損失に計上いたしました。

- |                       |               |
|-----------------------|---------------|
| 1. 旧事務所修繕費            | 124,181,070 円 |
| 2. <u>旧事務所固定資産除却損</u> | 23,430,786 円  |
| 3. 本社引越し費用            | 17,204,500 円  |

(2) 過年度決算修正費用にかかる特別損失(連結及び個別) 117,691,218 円

2024年7月4日に開示された通り、誠に遺憾ながら、当社は子会社 Shinwa Prive 株式会社等の取引における不適切会計に関して、第三者委員会を立ち上げ、調査報告書を受領し、過年度決算の修正をいたしました。それにかかる費用をこの度特別損失に計上いたしました。

(3) アイアート株式会社にかかるのれんの減損(連結) 343,624,754 円

当社の連結子会社であるアイアート株式会社の株式取得に伴い発生したのれんについて、減損の兆候が認められたため、将来の収益見通しと回収可能性を考慮した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

(4) Shinwa Prive 株式会社貸付金にかかる貸倒引当金繰入額(個別) 268,140,000 円

Shinwa Prive 株式会社は債務超過となっているため、貸付金の回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額を計上いたしました。

(5) Shinwa Digital Arts 株式会社に係る特別損失(連結) 65,333,546 円、(個別) 20,590,499 円

当社が2024年10月30日にリリースいたしました「連結子会社の商号の変更に関するお知らせ」で発表しましたとおり、当社はこれまでクライアントと締結しておりました Edoverse の開発事業のコンサルティングから、クライアントが進める新たな展開への移行を支援する役割に注力することになったこと、および、広くデジタルアート、NFT アートのマネージメントを行うこととしたため、これまでの事業にかかるものを一旦精算することとしたため、21,999,999 円(連結)を減損処理、22,743,048 円(連結)を貸倒引当金繰入額といたしました。また、同様の理由により、クライアントの開発会社（Sequin, inc）に対する出資金 20,590,499 円(連結及び個別)に関しましても減損処理をいたしました。

以上